

微雨の候 宮崎県防衛協会 青年部会 宮崎支部会員に於かれましては、益々ご清福の段、大慶至極に存じ上げます。

皆様には日頃より当支部運営に際して特段のご高配を賜り、深甚なる敬意を表すと共に、倍旧のご支援を伏してお願ひ申し上げる次第です。

六月十日、県立芸術劇場にての「海上自衛隊東京音楽隊」宮崎公演に参加した、当支部の二名から「大変素晴らしく、感動した」との嬉しい感想を頂きましたが、同隊は陸と空の三大中央音楽隊で、防衛省直轄セントラルバンドとも呼ばれ、国家行事や海外演奏にも参加する程の「軍楽隊」ですから当然かと存じます。

同十七日、レマンホテルにての「宮崎県隊友会総会」に参列した際、宮崎県偕行会川野会長が陸士五十八期と知り、私の存ずる同期の方との話に花が咲き、老兵の深い憂国の情に、改めて戦前教育の素晴らしさを思い知らされました。

その夜は新田原基地F15パイロットで飛行教導隊（アグレッサー）元教官五十嵐二佐とご一緒でしたが、迷彩塗装の猛々しいイーグルファイターからは想像も出来ぬほど穏やかな人柄に、真の防人の姿を垣間見た思いです。

また同日都井岬の高畑山分屯基地高尾司令とも知遇を得て、十月十三日開催の「分屯基地祭」のご案内を賜りましたので、支部の皆様も是非ご予約下さい。

同二十四日は新田原基地司令荒木空将補、及び飛行群司令尾崎一佐と同席させて戴き、実体験に基づく大変興味深いお話しの数々を伺う事が出来ました。

尾崎一佐は、防大三十一期の四十七才、元F4パイロットで米航空士官学校教官も務め、八年前アフガニスタン及びビラク戦の米中央軍司令部が置かれたフロリダ州タンパでの「航空自衛隊連絡官」業務にも携わられたそうです。

尾崎一佐ご自身の輝かしい軍歴もさる事乍ら、父上もF4パイロットとして殉職し、更に祖父は陸軍士官学校二十三期生で、第十九師団長に親補された後、比島戦線では物量勝る米軍相手に、善戦敢闘した尾崎義春中将との事でした。

帝国陸海軍でも、職業軍人の子供は幼年学校から陸軍士官学校や海軍兵学校を経て軍人になる事が普通だったと仄聞し、やはり環境が人を育てるようです。

現在の自衛隊も創隊六十周年ともなれば、父親の姿に憧れた子供が任官し、その孫が入隊して三代続いての自衛官一家と云う話も珍しくなくなりました。

国防と云う崇高な使命に赴く自衛官の心意気に報いる為にも、我々防衛協会青年部会の役割は大きく、各基地や駐屯地主催行事の広報活動や積極的参加等、広く国民の理解と協力を得る努力を惜しんではならぬものと考えます。

ついでには八月三日の新田原基地納涼祭や同十五日の護国神社慰霊祭へご協力戴いた方を優先に、十月中旬予定のヘリコプター体験搭乗案内を致しますので、皆様奮ってご参加賜れば幸いです(笑)。何卒ご自愛専一にお過ごし下さい。

平成二十四年七月一日

宮崎県防衛協会

青年部会

宮崎支部長

小倉和彦

